

二十三 税法第二十三條ニ納期前云々トアルハ納税者ヨリ其年ノ納税期限前ニ所得金高十分ノ五以上ノ減損ヲ生シタル旨郡區長ニ申出郡區長ニ於テ其事實ヲ取調ヘ本人ノ申出至當ナリト見認ムルトキハ其者ノ既定所得金中ヨリ其減損高ヲ引去リ殘ル所ノ所得金ヲ目安トシ更ニ等級及税金額ヲ定メ該納期ニ納ムヘキ税金ヲ減額スルナリ譬ハ其年ノ税金拾圓ヲ納ムヘキモノ其年ノ八月前ニ於テ所得減損シ等級税金等ヲ更定セラレ税金五圓ト爲リタルトハ九月ノ納期ト翌年三月ノ納期トニ於テ二圓五十錢ツ、ヲ納ム又其年九月ノ納期後ニ於テ所得減損シ等級税金等ヲ更定セラレ其年ノ税金五圓ト爲リタルトキハ前期ニ於テ既ニ納メ済ミナルヲ以テ此期ニ於テ別ニ納ムルニ及ハスト 雖等級税金等ノ更定ニ依リ一箇年ノ税金三圓ト爲リ又ハ全ク免稅ト爲ルコトアルモ既ニ納メタル五圓ハ其儘ニ差置キ之ヲ納税者ニ還付スルコト無シ(税法第二十三條ヲ見合スヘシ)

二十四 所得金高十分ノ五以上ノ減損トハ所得金總額高ノ十分ノ五以上減損ト云フ義ニシテ譬ハ一種ニシテ千圓ノ所得ナレハ五百圓以上減損シ又二種ニシテ第一種ハ壹萬圓第二種ハ貳萬圓合計三萬圓ノ所得ナレハ二種ノ損益ヲ差引シテ壹萬五千圓以上減損トナリタルモノノ類ナリ若シ此場合ニ遭遇シ減稅又ハ免稅ヲ申立ルトキハ充分ニ事實ヲ具シテ審査ノ便ニ供スルコト肝要ナリ但資本又ハ事業ノ減損ト止マリテ所得金高ニ及ハサルモノ譬ハ田畑ハ水害ニ罹リテ荒地トナリタルモ其レヨリ生スル其年ノ所得ハ十分ノ五以上收入シ或ハ工業場備付ノ蒸氣器械五箇ノ内三箇ハ使用ヲ止メタルモ工業ノ所得ハ十分ノ五以上ノ減損ヲ見サル類ハ減稅免稅ヲ申出スルコトヲ得サルナリ

二十五 北海道沖繩縣及ヒ東京府管轄小笠原島伊豆七島ニ於テハ官府ヨリ受クル俸給手當金年金及ヒ恩給金ノ外ハ當分ノ内所得税法ヲ施行セラレスト雖モ同地ニ居住スル人民ニシテ税法施行地ニ於テ收入スル所得アルモノ又ハ税法施行地ニ居住スル人民ニシテ同地ヨリ收入スル所得アルモノハ皆税法ニ據テ所得稅ヲ納ムヘキコト勿論ナリ(税法第廿九條ヲ見合スヘシ)

●明治廿年(六月)訓令乙第十七號 郡區役所
所得税法第十三條ノ下調書及ヒ同法取扱細則第七條ノ通知書ハ別紙離形ニ據リ調製スヘシ
(下調書離形)

所得金高	扣除金高	町	村	姓	名

(通知書離形)
貴郡(區)何町村(寄留)某(外何人)所得金調査スルニ本人(共)申出之通適當ト認メ候ニ付届書ヲ屬シ及御送付候也
年月日
何縣何郡區長姓名印

一三 人 西頸城郡
 一三 人 岩船郡
 一五 人 佐渡三郡

●明治廿年(八月)訓令乙第三十四號

郡區長

所得稅法第二條第二項中醬油菓子營業者ノ製造稅造石稅及營業稅ノ扣除方ハ十八年第十號第十一號公布實施以後ノ年間ニ據リ又區町村費ノ扣除方ハ十八年第五號公布實施以後即チ十九年一ケ年ヲ以テ算出ス可キ旨指令及リ置候向モ有之候處右ノ前三ケ年間現ニ納メタル金高ヲ三除シテ扣除シ且所得金額モ總テ前三ケ年ヲ平均スル義ト心得ヘシ

●明治二十年(九月)訓令乙第四十三號

郡區役所

所得稅調查委員手當並旅費應費支給方法左ノ通相定ム

所得稅ニ關スル諸費支給規則

- 第一條 調查委員手當並旅費筆墨料ハ左ノ表面ニ據リ之ヲ支給ス
- 第二條 開會中手當ハ日割ヲ以テ支給ス
 但ヒノ事故ニ據リ欠席スルモノハ支給セズ
- 第三條 往復旅費ハ出發地ヨリ里數ニ應シ車馬賃ヲ支給ス但居住地ヲ去ル一里未滿ハ支給セズ
- 第四條 調査ノ都合ニ據リ出張スルトキハ里程ヲ通算シ車馬賃及日當ヲ併給ス
- 第五條 海里又ハ瀛車里ハ陸路里程ノ割合ヲ以テ支給ス

第六條 總テ里程ニ端數ヲ生スルモノハ切捨テ算入セズ
 第七條 印章及川紙代郵便稅等ハ實費ヲ支給ス
 手當及旅費筆墨料給額表

調査委員手當	車馬賃	貸出張日當	筆墨料
一日	每ニ一里	每ニ一日	每人
壹圓拾錢	壹錢	圓拾錢	五錢

●明治二十年(七月)諭達第九號

所得稅ノルヤ國民各自ノ貧富ニ應シ租稅負擔ノ均一ヲ計ルカ爲メ殊ニ生計ノ裕カナル中等以上ノ人士ニノミ課スルモノニシテ歐洲文明ノ諸邦概テ之レアラサルハナク而テ其法三アリ第一法ハ人民ノ申告ヲ主トシ政府ノ査定ヲ從トシ第二法ハ政府ノ査定ヲ主トシ人民ノ申告ヲ參考トシ第三法ハ住家ノ大小善惡僱婢ノ多少車馬ノ數等ノ如キ貧富ヲ表スル外標ニ依リ政府一定ノ成規ニ從ヒ人民ノ歳入若クハ財產ヲ推定シテ之ニ賦課ス英國ノ如キハ人民ノ申告ヲ主トシ政府之ヲ査定シ且其國地利ノ如キハ政府ノ査定ヲ主トシ人民ノ申告ヲ參考トセリ凡諸邦中其國民ノ信義厚ク進取ノ氣風盛ニシテ愛國心深キ國ニ於テハ人民カ國家ノ用費ヲ見ルコト自家ノ用費ト一般最モ親切ナルヲ以テ其所得ノ申告皆其實ヲ呈スルニヨリ官ノ査定ニ依テ増額セシメラル、如キ煩勞ヲ要セス之ニ反スルモノハ政府ノ調査修正ヲ免レズ今我邦所得稅ノ法

第八類 所得稅

タルヤ基チ人民ノ申告ニ採リ之ヲ査定スル亦納稅者自ラ撰ム所ノ調査委員ニ於テシ尙審査ヲ要スル場合モ常置委員ノ決議ヲ以テ最終ノ査定トシ一ニ納稅者各自ノ名譽ト良心トニ任從シ其申告ヲ主トシ人民ノ代表者之ヲ査定スルノ制ナリ願フニ徃時封建ノ世ニ在ル各藩皆其封土ヲ蓄シ政令一ナラス毀譽榮辱ハ僅カニ疆域ニ止マリ四民ノ分限等差アリ與泰ノ權亦舉テ領土有司ノ意中ニ存ス此時ニ當リ農タリ工商タルモノハ家ニ百萬ノ富アリト雖進テ力チ社會ニ伸フルノ地ナク管ニ力チ伸フルノ地ナキノミナラス動モスレハ御用金冥加金ト稱シ忽チ財產ノ幾分ヲ剝奪セラレ、モノアリ故チ以テ富饒ノ者モ吾財產ノ實力チ社會ニ知悉セラレ、テ厭ヒ凶暴風ヲ爲シ故チニ外觀ヲ低フシ只退守卑屈暖飽チ以テ得タリトセリ此ノ如キ陋習汚俗固ヨリ時勢ノ然ラシムル所ト雖也今日ヨリ之ヲ顧レハ寔ニ深望ニ堪ヘサルナリ

今ヤ然ラス財產安固ナルノミナラス富者ノ社會ニ重セラル、ヤ公ニ私ニ昔日トハ雲泥霄壤ノ差アリトス昔日ハ仰視スルチモ得サリレ公侯トモ席ヲ同フスヘシ錦繡チ衣テ驪馬ノ車ニ駕シ縱橫馳驅スルモ金力次第隨意ノ世ノ中ナリトス宜ク各自倍其富裕ノ光輝チ發表シ社會ニ名譽敬信ヲ得ヘキノ時ナリ況ンヤ萬邦比隣ノ如ク電信ニ郵便ニ將タ新聞ニ交通ノ便具サニ備ハリ其毀譽榮辱ハ直ニ内外世人ノ注視スル時ナルチヤ大凡政治ニマレ商事ニマレ大ニ爲スアラントスルノ士ハ固ヨリ學識經驗ヲ要スト雖モ資產ノ以テ公衆ノ信任チ資クルアルニアラスンハ何チ以テカ勝チ社會ニ制スルチ得ンヤ各人所得稅納額ノ多寡ノ如キハ帳シ社會公衆ノ耳目ニ觸レ一目ノ下直チニ其資產ノ優劣チ判別セラレ社會ノ信用敬重チ得ルト得サルトニ關スヘシ彼ノ歐洲文明人士ノ如キハ其所得チ申告スルニ當テヤ鏡フテ多額チ表示シ毫モ躊躇スル

所ナシト其然ル所以ノモノハ一ハ信義チ重シ愛國ノ心厚キヨ由ルヘシト雖モ抑モ亦社會ノ信用敬重チ博シ自己無形ノ利益チ企圖スルニ非ラサルナキチ得ンヤ今我縣下ノ地タル土地膏腴富商豪農相望ム試ニ之ヲ日本全國ニ求ムルモ多ク其比ヲ見サルヘシ殊ニ近者大ニ陋習汚俗チ掃蕩シ進ンテ社會ニ爲スアラントスルノ士亦乏シカラズ固ヨリ五郎カ官チ待タサルヘシト雖モ縣下ノ廣キ若シ或ハ所得金ノ實額チ申告セズ稅則ノ制裁チ受ケルカ如キモノアルハ獨リ一人ノ汚辱ニ止マラス實ニ縣下全体ノ品位チ低落スヘキヤ疑ヒナシ抑モ前陳ノ如ク吾國所得稅ノ法タル人民ニ申告セシメ人民ノ代表者タル調査委員常置委員等之ヲ査定スルモノニシテ方法己ニ其美チ極メ文明諸邦ニ愧ル所ナシト言モ過言ニアラサルヘシ宜シク人民ノ申告モ亦其良心ノ美チ顯彰シ鏡フテ誠心正意ノ申告チ爲シ倍社會ニ信用敬重チ増シ文明人士タルコ愧ツル所ナカラシコトヲ冀望ノ至ニ堪ヘス

●明治廿一年(二月)訓令乙第九號
 所得稅分限臺帳格式左ノ通相定ム
 但明治廿年度分ヨリ調製スヘシ

(格式略ス)

●明治廿一年(六月)訓令乙第五十六號
 北海道等ニ於ケル所得稅法第廿九條但書外ノ所得ニシテ其所得主又ハ家事チ管理スル者内國施行地ニ居住スルルハ總テ其所得ニ課稅スヘシ
 外國ニ於ケル營業上ノ所得又ハ公私ノ職務チ帶ヒ若シハ學術研究ノ爲メニ外國ニ在留或ハ旅

郡區役所

第八類 所得稅

行スル者ノ俸給所得ト雖ル其營業所得主又ハ受俸給者ノ家事ヲ管理スル者内國施行地ニ居住スル場合モ亦同シ

但從前指令等ニシテ本文ニ抵觸スルモノハ廢止ス

●明治廿一年(七月)訓令乙第七十一號

郡區役所

今般大藏省第三十五號ヲ以テ所得稅届書誤謬訂正方申出ツル者取扱方訓令相成候ニ付テハ從來指令等ニシテ右訓令ニ抵觸スルモノハ廢止ス

●明治廿一年(八月)訓令乙第七十八號

郡區役所

所得稅調査委員會ニ於テハ人民各自ノ届出ニ對シ減額スルヲ得サルヤノ旨第一印ノ通り大藏大臣、經伺候處第二印朱書之通り指揮相成候條此旨心得ノ爲メ訓令ス

第一印

調査委員會ニ於テハ納稅者ノ届出適當ナリトスルモ之ヲ減スルヲ得サル儀ト心得ヘキヤ第二印朱書

本月四日電報所得稅調査委員會議決方之伺ハ申出ノ通

●明治廿一年(九月)訓令乙第八十號

郡區役所

甲郡區ニ於テ所得稅調査委員會開會後ニ際シ其未ク調査ヲ開カサル他府縣又ハ他郡區ヨリ轉住シ來レル者ノ所得届又ハ届洩ノ者ヨリ追届ニ係ル分ハ郡區長ニ於テ直ニ其届出額ニ據リ稅法第十七條ニ準リテ該稅額ヲ達スヘシ

但從來指令等之レニ抵觸スルモノハ廢止ス

○租稅收方

○國稅臺帳

●明治二十二年(二月)訓令甲第十二號

戶長役場

國稅臺帳別納額元帳樣式及調製心得別冊ノ通相定メ候條自今右ニ準據調製スヘシ但郡衙設置ノ臺帳樣式ニ據リ調製シ置キタルモノハ漸次改正スヘシ

國稅臺帳別納額元帳調製心得

一 國稅臺帳別納額元帳ハ各其樣式ニ準據シテ之レヲ調製スヘシ

一 元帳ハ其時々洩漏ナク之ヲ登錄及ヒ訂正加除スヘシ

一 酒類造石稅醬油造石稅菓子製造稅及所得稅等ハ郡役所ヨリ送付スル仕譯書ヲ以テ元帳ニ代用ス可シ

一 元帳ハ每大字ニ區分シ一稅目毎ニ一ケ年兩度(一月一日七月一日)ニ合計ヲ付ス

一 元帳ハ每大字ニ見出シヲ附シ且船車煙草菓子稅ノ如キ一稅中ニ數種ノ小科目(蒸氣船日本形船製造仲買卸小賣等ノ類)アルモノハ各其部分ケヲ爲シ見出シヲ附シ置クヘシ

一 用紙ハ強硬ノ質ヲ選ムヘシ

船稅樣式 第一號

一 摘要欄内ニハ何府縣何郡區町村何某ヨリ(買讓)受若クハ修繕ヲ加ヘ積(噸石間)數ニ變動ヲ生シ別紙ヘ移記セシメ及定繫場ヲ變更セシメ等墨書ニ又ハ他ニ賣渡水火盜難破解

廿二年六月訓令甲第四十五號ヲ以テ第三項ヲ削除シ第二項ヘ但書ヲ追加ス第二編ニ掲載ス

廿二年六月訓
令甲第四十五
號ヲ以テ醬油
稅樣式ヲ削除
ス

流失廢業等ハ朱書ニテ其要領ヲ摘記スヘシ以下次表之ニ準ス
一事故アリテ鑑札書換或ハ再渡アリシト其鑑札番號及年月日ノ欄ニ記入シ最前ノ分ハ朱
ニテ縱線ヲ畫スヘシ以下次表之ニ準ス

車 稅 樣 式 第 二 號

一 種 類 ト アル 欄 内 ニ ハ 馬 車 ハ 二 匹 立 以 上 一 匹 立 或 ハ 荷 積 入 力 車 ハ 二 人 乘 或 ハ 一 人 乘 荷 車
ハ 大 七 大 八 或 ハ 中 小 車 等 ノ 別 ヲ 記 ス ヘ シ

牛 馬 賣 買 免 許 稅 樣 式 第 三 號

醬 油 稅 樣 式 第 四 號

煙 草 稅 樣 式 第 五 號

賣 藥 稅 樣 式 第 六 號

一 壹 人 ニ シ テ 數 方 ノ 免 許 ヲ 受 ケ タ ル モ ノ ハ 之 ヲ 列 載 ス ヘ シ

菓 子 稅 樣 式 第 七 號

一 鑑 札 及 年 月 日 ノ 欄 内 ニ ハ 醬 油 稅 樣 式 第 四 號 及 年 月 日 ヲ 墨 書
シ 兼 業 ナ ル 卸 賣 等 ハ 其 左 傍 ニ 朱 記 ス ヘ シ 但 卸 賣 ニ シ テ 小 賣 兼 業 ノ モ ノ ハ 之 レ ニ 準 ス
一 製 造 營 業 者 ニ シ テ 卸 賣 又 ハ 小 賣 兼 業 ノ モ ノ ハ 更 ニ 製 造 ノ 部 ニ 朱 記 登 録 セ ル ヲ 以 テ 其
兼 業 ナ ル 卸 賣 ハ 特 ニ 其 部 ニ 記 載 ス ル コ 及 ハ ス 故 ニ 卸 賣 部 ニ ハ 兼 業 ニ ア ラ サ ル 單 純 ノ
卸 賣 營 業 者 ノ 分 ノ ミ ヲ 記 載 シ 小 賣 モ 亦 之 下 異 ナ ル コ ト ナ シ

自治治何年度

船 稅 一 人 別 納 額 元 帳

第 一 號

戶 長 役 場 名

船 稅 定 率	噸	付	金
西 洋 形 蒸 氣 船	百	噸	金 拾 五 圓
全 風 帆 船	同		金 拾 圓
日 本 形 船 積 石 五 拾 石 以 上	百	石	金 貳 圓
全 積 石 五 拾 石 未 滿	長 自 船 梁 三 間 迄	付	金 參 拾 錢
日 本 形 大 (小) 船 積 石 二 拾	但 三 間 以 上 一 間 ヲ 加 フ ル		金 參 拾 錢
遊 船	但 全 上 ヲ 加 フ ル 毎 ニ 金 貳 拾 五 錢 ヲ 加 加 ス		金 五 拾 錢

町(村)番地(戸)(以下各帳之レニ準ス)		納税代人アルモノハ傍ニ記載スヘシ	
鑑札番號	年月日	書換或再渡	噸石數
鑑札番號	年月日	書換或再渡	噸石數
鑑札番號	年月日	書換或再渡	噸石數
要	摘	要	摘
	氏名		氏名

何 税 合 計

明治何年一月一日調	個數計	新規個數	稼續個數	額 稅 額 稅
明治何年七月一日調	個數計	新規個數	稼續個數	額 稅 額 稅
自治治何年				
車 稅 一 人 別 納 額 元 帳				
戸 長 役 場 名				

烙印番號	年	月	日	種	類	要	氏	名	馬車	人力車	牛車	荷車
									金二匹以上	金二人乘	金壹圓	金大七壹大八圓
烙印番號	年	月	日	種	類	要	氏	名	金一匹	金一人乘	金中	金五拾
									金壹圓	金拾	金拾	金拾

五八六

烙印番號	年	月	日	種	類	要	氏	名	自治何年
									牛馬買賣免許稅一入別納額元帳
烙印番號	年	月	日	種	類	要	氏	名	第三號
									免許稅一ヶ年
免許稅一ヶ年									
金壹圓									
戶長役場名									

五八七

第八類 國稅彙帳

鑑札番號	年月日	書換或再渡	氏名
鑑札番號	年月日	書換或再渡	氏名
鑑札番號	年月日	書換或再渡	氏名
摘要	摘要	摘要	摘要

五八八

自明治何年			
醬油營業稅一人別納額元帳			
第四號			
營業稅			
定率營業稅製造場一箇所ニ付一ヶ年金五圓			
鑑札番號	年月日	書換或再渡	氏名
鑑札番號	年月日	書換或再渡	氏名
摘要	摘要	摘要	摘要

戶長役場名

第八類 國稅彙帳

五八九

鑑札番號	年	月	日	書換或再渡	氏						
				鑑札番號	年	月	日		要	摘	氏
自明治何年											
煙草稅一人別納額元帳											
第五號											
營業稅定率											
製造營業稅											金拾五圓
仲買營業稅											金拾五圓
小賣營業稅											金五圓
戶長役場名											

業名	鑑札番號	年	月	日	書換或再渡	氏						
					鑑札番號	年	月	日		要	摘	氏
					鑑札番號	年	月	日		要	摘	氏
					鑑札番號	年	月	日		要	摘	氏

自治治何年

賣藥稅一人別納額元帳

戶長役場名

第六號

營業稅定率

金貳圓

營業稅

藥名

鑑札番號

年月日

書換或再渡
鑑札番號

年月日

氏名

名

摘要

第八類 國稅臺帳

第七號

自治治何年

菓子稅一人別納額元帳

戶長役場名

氏名

名

藥名

鑑札番號

年月日

書換或再渡
鑑札番號

年月日

摘要

製造營業稅定率	
雇人區分	稅金
十人以上	貳拾圓
六人以上	拾五圓
三人以上	拾圓
二人以下	五圓
雇人十キモノ	壹圓
小賣營業稅定率	
三人以上	七圓
二人以下	三圓
雇人十キモノ	壹圓

五九四

業名	氏名
鑑札番號	書換或再渡
年月日	年月日
第何號 御賣第何號 小賣第何號	要摘
氏名	
鑑札番號	書換或再渡
年月日	年月日
第何號 御賣第何號 小賣第何號	要摘
氏名	
鑑札番號	書換或再渡
年月日	年月日
第何號 御賣第何號 小賣第何號	要摘
氏名	

第八類 國稅臺帳

五九五

●明治廿年(三月)訓令甲第六十五號

郡區役所 戶長役場

其役所役場備付土地ニ關スル諸帳簿中異動地加除訂正之義ハ指令又ハ達濟ノ時々一筆限リヨ
リ合計ニ至ル迄悉ク整理致シ置ヘキハ勿論之處往々其手續ヲ盡カスシテ荏苒等閑ニ付シ甚シ
キハ數ヶ月或ハ數年ヲ經過シテ訂正ヲ爲スモノ有之哉ニ相聞候右ハ土地ノ沿革ヲ紊亂錯雜セ
シムル一大原因ニシテ最モ容易ナラサル義ニ付爾來指令達濟一筆限表到達之日ヨリ起算シ郡
役所ハ四十日以内區役所戶長役場ハ十五日以内ニ訂正整理スヘシ
但郡區役所地租臺帳ハ十日以内ニ訂正整理スヘシ

○國稅ニ關スル諸營業鑑札

●明治廿一年(六月)縣令甲第六十四號

國稅ヲ納ムル諸營業者 酒造及醬油ヲ除ク(免許鑑札下附出願スルトハ鑑札ヲ下附スルニ止メ
自今指令相廢候條副書差出ニ及ハス
但本文ニ抵觸スルモノハ取消ス

○內國稅未納道徵整理順序

●明治十九年(九月)訓令甲第七號

郡區役所 戶長役場

內國稅未納道徵順序左之通相定メ十六年(十月)丙第五十四號十八年(八月)乙第九十一號同年
(六月)丙第四十四號本廳達ハ自今廢止シ十八年(六月)丙第四十五號達第三項同達中勘定除却

之文字ハ凡テ刪除ス

內國稅未納道徵整理順序

第一條 郡區長ハ甲號書式ノ如ク內國稅未納臺帳ヲ調製スヘシ
第二條 郡區長ハ內國稅ノ內事故アリテ翌年度十一月三十日迄ニ徵収ヲ完了セサルモノハ其
年度未納元額トシ臺帳ニ登記スヘシ但後日追徵シタルトキハ其時々臺帳ニ登記シ其旨直ニ
當廳ニ申報スヘシ

第三條 郡區長ハ諸營業稅及ヒ船車稅不納者旅行又ハ失踪シ其財產所在不分明ニシテ公賣處
分ヲ爲シ能ハサルモノハ年々未納臺帳ニ登記シ置キ而シテ他日本人籍籍又ハ所在發見シタル
トキハ未納ニ係ル毎期ノ税金ヲ追徵スヘシ但未納ノ當初ヨリ滿三ヶ年ヲ經過シ尙完結セザ
ルモノハ其際更ニ處分ヲ稟申スヘシ

第四條 郡區長ハ毎年度ノ末ニ於テ乙號書式ノ如ク既往年度未納殘高仕譯書ヲ製シ四月五日
限リ當廳ニ差出スヘシ

但戶長ハ三月三十一日限リ郡長ニ差出スヘシ(十九年十一月訓令甲五十一號ヲ以テ但書
追加)

第五條 郡區長ハ臺帳ニ記載シタル納稅者他管ニ移住送籍スルトキハ(郡長ハ戶長ヨリ送籍
ノ報告ヲ得タルトキ)其管廳ニ引繼シ可キ不納書類ヲ取纏メ差出スヘシ但管內他郡區ニ移
住送籍スルトキハ不納ニ係ル書類ヲ取纏メ其郡區長ニ引繼シ爲シ同時ニ當廳ニ申報スヘシ
第六條 他管ヨリ引繼ノ書類ヲ當廳ヨリ交附シ又ハ他郡區長ヨリ引繼ヲ受ケタルトキハ之ヲ

臺帳ニ記入シ追徴ノ手續ヲ爲スヘシ但郡長ハ戸長ハ詳細通報スヘシ
 第七條 戸長ハ毎年度税金不納者一人別帳ニ因リ未納臺帳ヲ調製ス可シ
 第八條 戸長ハ未納者他管又ハ管内他郡區へ送籍スルトキハ速ニ郡長へ報告スヘシ
 第九條 戸長ハ他管又ハ縣下他郡區ヨリ未納書類引繼ヲ受ケタルコトヲ郡長ヨリ通報アルトキハ之ヲ臺帳ニ記入スヘシ
 (甲乙號書式ハ別ニ送付ス)

●明治廿一年(三月)訓令甲第廿二號

郡區役所 戸長役場

十九年(九月)訓令甲第七號内國稅未納追徵整理順序甲乙號樣式凡例中左之通改正及追加ス

甲號樣式凡例第二項 (戸長役場ハ甲號樣式凡例第一項ノ次へ追加ス)

一 追徴處分ノ未官損ニ歸セシモノハ其徵稅令書ヲ發シシ年度ノ臺帳へ記入スルモノトス但徵稅令書ヲ發セサルモノハ其指令三月三十一日已前ニ係ルモノハ該當年度四月一日已降ニ係ルモノハ翌年度ノ臺帳へ記入ス

●明治廿一年(三月)訓令乙第廿六號

郡區役所

明治十九年(九月)訓令甲第七號未納金追徵整理順序第二條翌年度十一月三十日迄ニ徵收ヲ完了セサルモノハ左ノ書式ニ據リ未納金調書ヲ製シ十二月十日限り差出スヘシ

明治何年度何租稅未納金調書(項限リ別紙ニ認ム可シ)

一金何程

何(租)稅(項)ヲ掲ク

内	何(租)稅(目)ヲ掲ク
金何程	是ハ何町村何誰及何町村何誰失踪ノ爲メ未納稅率ノ異ナル者ハ一人毎ニ記載スヘシ
金何程	是ハ何町村何々ニ於テ盜難(紛失燒失等)ニ罹リ補填金請求中或ハ備荒儲蓄金貸與取調中ニ付未納
	(事故ノ異ナル毎ニ之ヲ區別ス)
	右之通候也
年月日	知事 宛
	郡區長 氏 名印
	郡區役所
●明治廿一年(六月)訓令乙第五十八號	
明治十九年(九月)訓令甲第七號未納金追徵整理順序第三條ニ據リ滿三ヶ年ヲ經過シ尙完結セザル諸稅金處分稟申方左ノ通り相定メ客歲(六月)訓令乙第二十一號官損金稟申方ハ自今廢止ス	
一金何程	何稅(項)不納處分之義稟申
内	何稅(目)
金何程	明治何年度

金何程

全何年度

右ハ何町村何某明治何年度前(後)半年ニ於テ不納之儘失踪(逃亡)等(爾來何年度(前後)半期ヲ區別スヘシ)迄ニ滿三ケ年ヲ經過シタルモ所在發見セス前額ノ金額完了セシムル能ハサルニ付如何處分シ可然乎此段稟申候也

○稅則違犯沒收物公賣

●明治十九年(六月)丁第二號

戶長 役場

稅則違犯ニ係ル沒收物件ノ公賣方ヲ本廳ヨリ達スルヲアル時ハ自今戶長役場ニ於テ左ノ手續ニヨリ取扱フヘシ

右相違候事

沒收物公賣手續

- 第一項 本廳ヨリ沒收物件引渡シテ受タル節ハ速ニ公賣手續ヲナスヘシ
- 第二項 沒收物件中官廳ノ烙印アルモノハ公賣ニ附スル前其烙印ヲ削除スヘシ
- 第三項 公賣ノ方法ハ入札若クハ競賣ニヨルヘシ
- 第四項 代價不相當ト見認ムル時ハ公賣ヲ停止シ再入札若クハ便宜ノ地ニ於テ更ニ公賣ノ手續ヲナスヘシ
- 第五項 公賣ニ附スルモ賣人ナキトキハ次後三ケ月以内ニ於テ更ニ公賣ノ手續ヲナスヘシ

第六項 沒收物件中毀損腐敗ニ係ルカ又ハ物件輕微ニシテ公賣ニ附スルモ價格ナシト見認ムルモノハ棄却スヘシ

第七項 犯則物件中無印紙賣藥ノ如キ配劑用法ノ詳ナシナルモノハ燒却シ無印紙烟草ノ類ハ烟草製造人ニ限リ拂下クルヲ得ヘシ

第八項 沒收物件ハ被沒收者ニ拂下クルヲ得ス(十九年七月訓令二號ヲ以テ追加)

第九項 沒收物件公賣代金上納手續ハ總テ本年本縣甲第六十八號達ニ準據拂下ケノ上ハ金額、人名、拂下品目、等速ニ報告スヘシ

第十項 公賣ニ關スル費用中揭示費人足實等ハ別途ニ請求シ戶長職務取扱ニ屬スル費用ハ總テ該役場費ヨリ支辨スヘシ

第十一項 棄却ニ係ル物件ハ其都度報告スヘシ

○租稅檢査

●明治十七年(一月)甲第十號

客年第四十三號布告ニ依リ租稅官吏ニ於テ人民ノ家宅内ニ立入り証憑取調ノ處分ヲ爲ストキハ其地戶長若クハ筆生鄰佑ノ内ヲシテ立會ハシムル等ニ候條此旨布達候事

●明治十七年(二月)甲第廿四號

客年十二月第四十三號布告ニヨリ自今租稅官吏ハ左之離形ノ証憑攜帶候條此旨布達候事

第八類 稅則違犯沒收物公賣 租稅檢査

第何號
國稅檢査印章
新瀧縣官氏名
新瀧縣廳

証票花紋略ス

郡區役所 戶長役場

●明治十九年(二月)乙第十三號
營業ニ關スル証券印紙貼用ノ諸帳簿及ヒ仕切書送狀等取調方租稅檢査員派出所ヨリ照會候節
ハ戶長役場ニ於テ其種類等取調別紙様式ニ倣ヒ製表シ所轄郡區役所ヘ差出スヘシ郡區役所ハ
之ヲ取總メ其地租稅檢査員派出所ヘ送附スヘシ此旨相達候事
凡例
何箇(町村)モ受持戶長ハ一町村毎ニ調製スヘシ帳簿冊數中ヘハ得意先ヘ差出シ置シ通帳ノ
數ヲ合記スルモノトス

證券印紙貼用帳簿證書類取調表

何郡何町(村)

判取帳簿	二類帳簿	送リ狀	仕切書	職業	營業人姓名
何冊	何冊	何冊	何冊	何業兼何職	何ノ誰

右ノ通取調候處相違無之候也

年月日

縣令宛

右町(村)

戶長 何ノ 某印

●明治二十二年(二月)訓令甲第十三號

戶長役場

國稅地方稅備荒儲蓄金徵收事務整理ノ實況檢査ノ爲メ收稅官吏ヲシテ臨時派出セシムルコト
ルヘシ
但檢査員心得左記ノ通相定ム

第一條 檢査スヘキ要項左ノ如シ

第一項 收納ニ係ル諸帳簿ノ整否及ヒ記帳手續ニ違フモノナキヤ否

第二項 租稅彙帳ト收納帳ト對照シ及收納帳金額ト徵稅令書又ハ納稅切符ノ金額ニ差違ナ
キヤ否

第三項 徵稅傳令書又ハ納稅切符ノ送達期限ヲ違フナルヤ否

第四項 日計簿ニ依リ收入金額ノ納期日及其手續ヲ違フナルヤ否

第五項 收納稅帳ニ依リ不納額ヲ調査シ不納者一人別帳ニ對照シ其不納報告時日遲緩ニ流
レタルヤ否

第二條 前條檢査ノ上若シ成規例格ニ違背シタル者アルトキハ始末書ヲ徵シ郡區長ニ照會シ

第八類 租稅檢査

六〇三

直チニ更正セシムルモノトス

第三條 検査上必要ト認ムルトキハ何等ノ帳簿ヲ問ハズ悉皆點檢スルヲ得

第四條 検査完結之上ハ其事實ヲ詳細記載復命スヘシ

○地租金代米納

●明治十年(十二月)甲第二百十二號第百廿九號

今般太政官第八十號(更正ノ分)ヲ以テ地租金ノ内田方ニ限半額代米納被差許ノ公布有之ニ付右代米納願出ル村々ハ其金額石數至急取調本月三十一日迄ニ無相違可願出右日限相過願出ル分ハ採用難致候條期日無運滞右願書可差出仍テ代米納心得書ヲ添此旨及布達候事

代米納ニ付心得

第一項

地租金之内田方ニ限り地租改正ニ用ヒタル相場(米一石ニ付金三圓廿錢)ヲ以テ右半額迄ハ代米納差許サル、ナリ

第二項

代納米ハ十二月三十一日限り願出許可ヲ請フヘシ右取調ノ都合有之ニ付管理區戸長ニ於テ日限ヲ縮メ取調方法注意致スヘシ

第三項

代米納許可ヲ得ル上ハ金納ニ復スルヲ請フモ決シテ許サス

第四項

代米納許可ヲ得タル村ハ前條相場ニテ算出シ得ル所ノ米額ヲ納入スヘシ尤依持及合米差入方其他川陸運賃官民ノ區別辨回シ檢量ノ方法ハ總テ從前貢納規則ニヨルヘシ

第五項

納所ハ新潟柏崎今町海老江ノ四ヶ所ト定尤納村ハ從前貢米納ノ區村割トス
●明治十七年(十二月)乙第百五十一號 郡區役所 戸長役場

地租金代米納領收順序之義明治十六年本廳乙第百四號ヲ以テ相達置候處今般更ニ別紙之通被定候條此旨相達候事

(別紙)

地租金代米納領收順序

第一條 代米納ハ町村納人各自若クハ一町村納人總代ヲシテ其定メタル港へ便宜輸送セシメ戸長ハ該港ニ出張之ヲ取調メ其郡役所ヨリ出張スル吏員へ相渡シ郡吏員ハ之ヲ檢査シテ其港出張ノ大藏省納米請取方へ交付シ戸長ハ其預リ切符ヲ以テ郡長へ納メ郡長ハ其預リ切符ヲ收稅長へ宛テ送付スルモノトス

第二條 郡役所ノ吏員ハ納米輸送ノ時機ヲ計リ檢査スヘキ港へ出張シ明治五年八月太政官第貳百三拾壹號達ニ據リ納米ノ檢査及ヒ受授ノ順序ヲ處辨セシムルモノトス

但檢査及ヒ受授ノ順序ハ納人及ヒ戸長郡吏員大藏省納米受取方各立會之ヲ爲スヘシ

第三條 代米納所ハ回漕船ノ碇泊シ得ヘキ地ヲ取調稟申ノ上定ムル者トス

第八類 地租金代米納

第四條 郡長ハ第壹號ノ通甲乙接續セル納米切符ヲ製シ該米納方期限前通クモ三十日以前各町村納額元帳ニ據リ其納米額及ヒ納期限ヲ甲乙納米切符ヘ記入シ第壹號甲納米切符ヘ一印ノ如ク郡役所ノ印ヲ捺シ尙元帳米額ト割印ヲ捺シ之ヲ戶長ニ達スヘシ

第五條 郡長ハ前條ノ如ク戶長ヘ納米切符ヲ達シタル後通クモ三日以内ニ其納米額ヲ第貳號ノ通調製シ之ヲ收稅長ヘ報告スヘシ

第六條 戶長ハ納米切符ヲ得テ其町村一人別帳ニ據リ納米者ニ達シ納米額ヲ輸送セシメ而シテ該米受渡ノ節第壹號乙納米切符ヘ二印ノ如ク調印シ其納米ト共ニ郡吏員ヘ相渡シ郡吏員ハ該切符ヘ第三號ノ通檢査證ヲ添付シ之ヲ港出張ノ大藏省納米受取方ヘ差出スヘシ

第七條 前條大藏省納米受取方ハ米額ヲ受取タルコトヲ證スル爲メ第壹號乙切符納米ノ下ヘ三印ノ如ク證印ヲ捺シ尙受取元帳ニ其金米額ヲ記シ之レト四印ノ如ク割印ヲ捺シ郡吏員ヲ經テ之ヲ戶長ヘ相渡スヘシ

第八條 戶長ハ第壹號甲切符ヘ五印ノ如ク調印シ郡役所ヘ上納スヘシ

第九條 郡長ハ各戶長ヨリ上納セル甲乙納米切符ノ米額ト納米元帳ト照査シ其甲切符ヘ六印ノ如ク領收ノ證印ヲ捺シ尙七印ノ如ク甲乙切符接續ノ中央ヘ印ヲ捺シ而シテ甲乙ヲ分截シ乙ハ郡役所ニ留置キ甲ハ戶長ニ付與シ以テ代米納濟ノ證トスヘシ

第十條 郡區長ハ其留置キタル納米切符ヲ一日毎ニ取經メ通クモ三日以内ニ第四號ノ通納稅證書ヲ製シ捺印ノ上之ヲ收稅長ヘ宛テ送付スヘシ

第十一條 收稅長ハ納米切符ヲ請取タル日ヨリ通クモ三日以内ニ第五號ノ通領收證書ニ捺印

ノ上郡長ヘ送付スヘシ

第十二條 郡長ハ代米皆納ニ至ラハ其金米額ヲ收稅長ニ報告スヘシ

第十三條 收稅長ハ定式ノ如ク皆濟帳ニ金納ト代米納トノ金額ヲ内譯ニ記シ其代米納ノ金額ヘハ此代米若干トシ主稅官長ヘ差出シ之ヲ決算ヲ爲スヘシ

第一號

- 一 是ハ最初戸長へ達スル片郡役所元帳ト押切且金米領ヲ證スル爲メ捺印ス即第一ノ手順ナリ
- 二 是ハ一村ノ納米取束ネ港出張ノ郡吏員へ相渡スノ證ニシテ即第二ノ手順ナリ
- 三 是ハ出張ノ大藏省納米受取方戸長ヨリ納米ヲ受取タル證印ニシテ即第三ノ手順ナリ
- 四 是ハ納米受取タル片出張ノ大藏省納米受取方ノ原簿ニ押切モノニシテ即第四ノ手順ナリ
- 五 是ハ戸長ヨリ代米渡濟郡役所へ上納ノ際證印スルモノニシテ即第五ノ手順ナリ
- 六 是ハ戸長ヨリ代米上納濟ニ至リ郡役所領收ノ證印ニシテ即第六ノ手順ナリ
- 七 是ハ戸長ヨリ代米上納濟ニ至リ上納證ト領收證トノ押切ニシテ即第七ノ手順ナリ

甲 明治何年分田租第何期代米分
 明治何年一月十五日限 何郡何村
 一印 金何程 六印 戸長 五印
 郡役 一印 領收 之印
 所印 一代米何程 領收 之印
 納人何之誰

乙 明治何年分田租第何期代米分
 明治何年一月十五日限
 七印 金何程 三印 何郡
 郡役 一印 領收 之印
 所印 一代米何程 領收 之印
 何村

右何港へ可相納候也

明治何年何月何日 郡役 所印

右現米何月何日何港出張大藏省納米受取方へ相渡
 何郡何村 戸長 之 誰
 二印

- 一 是ハ最初戸長へ達スル并郡役所元帳ト押切且金米額ヲ證スル爲メ捺印ス即第一ノ手順ナリ
- 二 是ハ一村ノ納米取束系港出張ノ郡吏員へ相渡スノ證ニシテ即第二ノ手順ナリ
- 三 是ハ出張ノ大藏省納米受取方戸長ヨリ納米ヲ受取タル證印ニシテ即第三ノ手順ナリ
- 四 是ハ納米受取タル片出張ノ大藏省納米受取方ノ原簿ニ押切モノニシテ即第四ノ手順ナリ
- 五 是ハ戸長ヨリ代米渡濟郡役所へ上納ノ際證印スルモノニシテ即第五ノ手順ナリ
- 六 是ハ戸長ヨリ代米上納濟ニ至リ郡役所領收ノ證印ニシテ即第六ノ手順ナリ
- 七 是ハ戸長ヨリ代米上納濟ニ至リ上納證ト領收證トノ押切ニシテ即第七ノ手順ナリ

甲	明治何年分田租第何期代米分	乙	明治何年分田租第何期代米分
一印	明治何年一月十五日限 何郡何村	一印	明治何年一月十五日限 何郡何村
郡役	金何程	六印	戸長
所印	一代米何程	七印	郡長
	領收之印	領收之印	納人何之誰
			五印
			四印

右何港へ可相納候也

明治何年何月何日 郡役 所印

右現米何月何日何港出張大藏省納米受取方へ相渡則上納候也

何郡何村 二印

明治何年何月何日 戸長 何之誰

第貳號 (用紙美濃界紙)
明治何年分

一金何程
此代米何程
右之通候也

田租第何期何年一月十五日限可納分
但地租改正相場壹石二付金何程

年月日

郡長 氏

名印

收 稅 長 宛

第三號 (用紙美濃界紙)
納米檢査證

一米三百石
此俵七拾四俵三斗貳升六合

何郡何村分
但四斗壹合入

第八類 地租金代米納

此石三百壹石四斗八升
 拼圖當三拾六俵
 拾八貫目
 拾八貫二百目
 拾八貫四百目
 右樹同シ六俵
 拾八貫目
 此斗立四斗壹升九合
 拾八貫目
 此斗立四斗貳升
 拾八貫貳百目
 此斗立四斗壹升八合
 拾八貫貳百目
 此斗立四斗貳升壹合
 拾八貫四百目
 此斗立四斗貳升四合
 拾八貫四百目
 此斗立四斗貳升五合

〔平均俵ノ入實(合米ヲ除)ヲ以テ本米ヲ除シ俵數ヲ得俵數ニ合米ヲ乘シ之ニ本米ヲ加ヘ石詰ヲ得〕

拾貳俵
 拾三俵
 拾壹俵

平均壹俵貫目拾八貫貳百目
 同樹同シ四斗貳升壹合

右之通相違無之候也

夕以下切捨

何府縣何港出張

納米檢査員

何郡書記 氏

名 印

年 月 日

第四號 (用紙美濃梓界紙)

證

第何號

一金何程

此代米何程

但何郡町村々明治何年田稅第何期分

但地租改正相場壹石ニ付金何程

右上納候也

年 月 日

收 稅 長 宛

郡 長 氏

名 印

第八類 地租金代米納

花紋
沿號
一金 何程

此代米何程

但明治何年田租第何期分

右請取候也

年月日

收稅長氏名印

郡長 宛

○預り米手續

●明治廿一年(二月)縣令甲第十七號
明治十年(十二月)本廳第百二十八號布達預り米取扱手續左ノ通改正ス
但明治十二年(十月)本廳第百九十五號達ハ廢止ス

預り米取扱手續

第一條 預り米ハ地租第三四五六納期ニ於テ各其半額迄ヲ納金抵當トシテ該町村ノ上米ヲ預ルモノトス

但代米納テ許可スルハ其員額ニ對スル分ハ預り米ヲ許可セス

第二條 預り米ハ十一月二十日マテニ願出テタル者ニ限り許可スヘシ

第三條 預り米ヲ許可スルハ地租改正ニ用ヒタル米價ヨリ時價下落ノ時ニ限ルヘシ

第四條 時價ヲ算出スルハ管内ニ適宜ニ區分シ相場立ノ箇所ヲ定メ置キ該年十月十二日ヨリ

十一月十日マテノ間其地ノ上米平均相場ヲ用フヘシ

第五條 預り米ハ前項ニ掲ケタル相場ヲ以テ計出シ得ル所ノ米額ニ壹割ヲ加ヘタルモノヲ藏

置セシムヘシ

第六條 俵並ニ俵入等ハ源テ代米納同様タルヘシ

但合米ハ加フルニ及ハス

第七條 預り米ヲ藏置スヘキ場所ハ最寄ニ於テ取締アル藏所ヲ申立ツヘシ但藏敷及ヒ看守人

給料其他一切ノ費用ハ預ケ人ノ負擔トス

第八條 藏入期限ハ十二月十五日限ト定メ郡吏戶長預ケ主(總代一名)立會封印スヘシ但郡吏

ハ適宜巡村ノ日割ヲ定メ豫メ之ヲ通告シ必ス期限内ニ完了スヘシ

第九條 預り米換金期限ハ左ニ記載セル三期トス此期日迄ニ納金セサル片ハ郡吏戶長立會其期ニ當ル預り米ヲ競賣スヘシ

第八類 預り米手續

一第(三四)期預り米

三月十五日限

一第五期預り米

四月二十日限

一第六期預り米

五月十五日限

第十條 前項購買代金税額ニ滿タサルハ直チニ其不足金ヲ徵收ス若シ納メサルハ一般ノ租税不納處分規則ニ據リ處分スヘシ

第十一條 預ク主ニ於テ預り米ヲ賣却セシコトヲ請フモノアルハ其時々之レヲ許シ各立會賣却ノ上其代金ハ直チニ收入シ藏出セシムヘシ

第十二條 預リ中水火盜難又ハ欠減等ニ罹リ損失ヲ生スルコアルモ預主ハ於テ補償ノ責ニ任スヘシ

第十三條 預り米アル地所他ノ事故ニ因リ公賣處分ニ係ルハ其預り米アルニ拘ハラス當期ノ税金ヲ完納セシムヘシ但此場合ニ於テハ預り米ヲ還付スヘシ

第十四條 預り米ヲ許可スルニ方リテハ前二項ニ開示セル條件ヲ承諾セシメ請書ヲ領收スヘシ

○收 税 雜

●明治十八年(六月)甲第百廿一號

土地所有者ニシテ其土地所在ノ戸長役場所轄内ニ居住セサルハ地租地方税備荒儲蓄金區町村費ヲ納ムル爲メ代人ヲ定メ土地所轄ノ戸長役場へ届置クヘシ此旨布達候事

但明治七年本廳第三百六號告示及同十年第百十一號布達同第百二十二號諭達ハ取消ス

●明治十九年(一月)甲第百廿一號

明治十八年(六月)甲第百廿一號布達ニ依リ代人ヲ定ムル場合ハ其土地所在ノ町村内ニ於テ定ムヘシ

右布達候事

●明治廿一年(十月)縣令甲第百號

諸營業者(國稅地方稅共)廢業又ハ免許鑑札ノ賣買讓與船車ノ破解及其賣買讓與等ノ節ハ自今該願届書管廳(郡區衙)へ到達ノ日ヲ以テ廢業又ハ營業權及物件移轉ノ境界ト相定候條若シ其願届書納期月三日迄ニ到達セシテ四日以後ニ涉ルハ該期ノ税金ハ(賣買讓與ハ賣讓主ヨリ)之ヲ徵收ス(廿一年縣令甲百廿三號ヲ以テ改正)

但商船航海中災害ニ罹リ破解等ノ節里程遠隔ニシテ其届書延着ノタル場合ハ此限リニアラス

明治十二年六月本縣甲第百十五號布達諸營業廢業届出ノ義及廿一年四月縣令甲第五十四號船車賣買破解届出ノ義ハ廢止ス

○地 方 税

●明治十五年(八月)甲第百八十一號

地方税備荒儲蓄金徵收ノ分爲換方へ收納ノ節金高千分ノ一手數料爲差出來候處自今右手數料

差出ニ不及儀ト可相心得此旨布達候事

●明治十五年(十一月)丙第四十七號

官用ノ船舶車馬ハ明治十六年度以後地方税ヲ賦課セサル旨本年十月内務省乙第百五十七號ヲ以テ被相達候條爲心得此旨相達候事

●明治十八年(十二月)訓第十一號

郡區役所 戶長役場

地方税戸數割之制タルヤ其居住者ノ貧タリ富タルニ論ナシ毎戸其賦課ヲ裝ラサルモノナシ故ニ本縣ニ於テハ現戸數ニ據リ徵收ノ額ヲ定メ毎戸等差ヲ立課賦スルヲ區町村會ノ議決ニ任スルモノハ各地特殊ノ事情ニ隨テ能ク其貧富ヲ查シ其適度ヲ測リ以テ荷モ富者ニ輕ク貧者ニ重カラシムル等ノ權衡ヲ失スルナカランヲ要スルニアレハ其局ニ當ルモノハ夙ニ深ク茲ニ注意アルハ論ナキノミ今其賦課ノ實際ヲ觀ルニ或ハ適宜等差ヲ立ル等ノ町村モアリト雖モ每戸平等ニ賦課スルモノ多キニ居ルモノハ必竟其徵收方法ヲ定ムルニ困難ノ場合アルニ由ルヘシト雖モ之レ區町村會ノ議決ニ委スルノ旨趣ニ悖リ貧富輕重其衡ヲ失シ遂ニ忘納者ヲ出シ公賣差ヲ立賦課候様一層注意可致此旨訓示候事

但區町村費戸別割之儀モ本文ニ準シ必其方法ヲ設ケ賦課スヘシ

●明治十九年(三月)訓第七號

郡 區 長

地方税戸數割並區町村費戸別割ヲ不納スルモノアルト明治十年第七十九號布告第三條ニ據リ土地家屋ヲ除キ他ノ財産ヲ公賣處分セントスルニ方リ其財産中貸付金數ノ証書アルトキハ郡

區長ヨリ其証書ニ記名アル負債主ハ眞偽ヲ辨テ無相違ニ於テハ直チニ公賣處分シ該証書ハ明治七年司法省第二十三號達第一條民事身代限處分ノ簡貸付金數証書要書之例ニ倣ヒ要書ヲ爲シタル上之ヲ其買請人ニ下附シ其旨負債主ヘ通告ス可シ

右訓示候事

●明治二十年(二月)諭達第二號

地方税ヲ納ムル營業者ニシテ他管下ヘ出稼スルモノ本縣ニ於テ納稅濟ノ證左ナキトキハ其出稼先府縣ノ地方税規則ニ照シ課稅可致旨追々各府縣ヨリ照會之向有之候條自今出稼セントスルモノハ必ス其納稅証書(則受領書)ヲ携帶スヘシ

●明治廿年(七月)訓令乙第廿七號

郡 區 役 所

地方税ヲ以テ施行スヘキ事業ノ内土木衛生教育勸業ノ如キ公益ニ關スル事項ノ施行又ハ作業等ノ外經常處務ニ屬スル經費ニ對スル寄附願ハ今後許容セス

●明治十九年(三月)丙第廿七號

郡 區 役 所

地方税收入精算報告書式別冊ノ通相定候條自今右ニ照準四月三十日限無延遲報告スヘシ

右相達候事 (廿一年三月訓令二十三號ヲ以テ改正)

何 郡 區 役 所

(用紙内山)

明治何年度地方税收入精算報告

印ハ朱書ノ分

○豫算金

第八類 地方税

一金	
地租	<ul style="list-style-type: none"> 但本年度地租精算高金何程 地租金壹圓ニ付金何程 內 地租金何程 全期 地租金壹圓ニ付金何程 地租金何程 半期 地租金壹圓ニ付金何程 地租金 半期及追加 地租金壹圓ニ付金何程 荒地起返地種組替換地等ニ依リ收入増 此地租金何程 內何程 全期 外何程 半期及追加
收入不足	

第八類 地方稅	
金	<ul style="list-style-type: none"> ○ 羅災者免除 ○ 此地租金何程 ○ 內何程 半期 ○ 外何程 半期及追加 ○ 貧困者免除 ○ 此地租金何程 ○ 但 全期 ○ 不納者處分ノ末地所官沒セシ分 ○ 此地租金何程 ○ 內何程 全期 ○ 外何程 半期及追加 ○ 論地勘定除却 ○ 此地租金何程 ○ 但 全期 ○ 新道潰地堤防敷地學校敷地成荒地變換地等ニ因リ減租ノ分 ○ 此地租金何程

<p>○豫算金 一金</p> <p>○内譯 金 金 金 ○外 金</p> <p>○内 金 ○内 金</p> <p>金千五百八拾圓七拾七錢三厘</p>	<p>○内何程 全期 何程 半期及追加</p> <p>營業稅</p> <p>商業稅</p> <p>○新規開業者何拾何戸アリシモ不納者何戸處分ノ未損失ニ歸シ逃亡者何戸ノ勘定除却アリシト其他廢業者ノ多數ナルト資本金噸石數ノ減少セシニ因リ收入不足</p> <p>第一類</p> <p>二等年額拾壹圓三分九厘 計百拾戸</p>
--	---

<p>○内 金五圓六拾三錢五厘</p> <p>○外 金壹圓拾貳錢</p> <p>○金壹圓三拾五錢三厘</p> <p>○金八拾七錢八厘</p> <p>○金九拾四圓七拾錢貳厘</p>	<p>内九十五戸 全期 十五戸 半期</p> <p>○新規開業ニ係ル分 計五戸</p> <p>内二戸 全期 三戸 半期</p> <p>○貧困者免除 計三戸 全期</p> <p>○不納者處分ノ未損失 計三戸</p> <p>内一戸 全期 二戸 半期</p> <p>○逃亡者勘定除却 計四戸</p> <p>内一戸 全期 三戸 半期</p> <p>○分賦額既定後廢業分</p>
---	--

金

。計十戸

。内三戸 全期

。内七戸 半期

第七類

以下每等及七第三四五六十三十四類共此例ニ做フ)

和船三百八十五艘積石百石ニ付貳個

計八萬千九百五石

内

三百六十八艘八萬五千三石全期

十七艘千八百五十二石半期

新規開業ニ係ル分

計八艘九百三十八石全期

分賦額既定後廢業ノ分

計十七艘千八百五十二石

但半期

(帆走船源船モ之レニ做フ)

金

第八類

但貸金會社五十四社資本金千圓ニ付

壹個五分計貳百四拾壹萬五千圓

内貳百三拾五萬圓 全期

六萬五千圓 半期

新規

内

金

(九類モ之レニ做フ)

金 内

工業税

不納者何人逃亡者何人廢業者等アリシモ

新規開業者多夥ナルニ因リ收入増

金	金	金	金	金	金
內	內	內	內	內	內
第十類	第十一類	第十二類	雜稅	豫算金	內課
但工業會社何社資本金千圓ニ付壹圓 計何萬何千圓 但職工年額四分 計何百何十人 內、 、 、 、 、 、		何町年額何個 計何戶	、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、	○(内外書ハ總テ商業ノ例ニ做フ)	○豫算金 一金

金	金	金	金	金	金
內	內	內	內	內	內
料理屋稅	待合茶屋稅	芝居茶屋稅	何等年額何個	何等年額何個	何等年額何個
計何百戶	計何戶	計何戶	計何百戶	計何百戶	計何百戶
何等年額何個	何等年額何個	何等年額何個	何等年額何個	何等年額何個	何等年額何個
、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、	、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、	、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、	○以下月稅此例ニ做フ	何町年額何個 計何戶	、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、
內何戶何ヶ月 內何戶何ヶ月	待合茶屋稅 月額何程 計何戶	芝居茶屋稅 月額何程 計何戶	何等年額何個 計何百戶	何等年額何個 計何百戶	何等年額何個 計何百戶

金	金	金	金	金	金	金	金
內	內	內	內	內	內	內	內
飲食店稅	何等年額何個計何戶	何等年額何個計何戶	湯屋稅	一坪五合以上月額何程計何戶	一坪以上月額何程計何戶	一坪未滿月額何程計何戶	理髮人稅

六二四

金	金	金	金	金	金
內	內	內	內	內	內
三人立月額何程計何戶	二人立月額何程計何戶	一人立月額何程計何戶	傭人受宿稅月額何程計何戶	遊藝師匠稅但何等月額何程計何戶	遊藝隊人稅但何等月額何程計何戶

六二五

第八類 地方稅

金	金	金	金	金	金
金	內	金	金	金	金
但何ヶ所 取上金高何程ノ百分ノ七					
遊・技場 稅 月額何程 計何ヶ所					
人 寄 席 稅 年額何程 計何ヶ所					
船 稅 國稅金何程ノ半額					
長三間以下船 計何艘					
內何艘 全期 長何間船 半期					

金	金	金	金	金	金
金	金	內	金	金	內
車 稅 國稅金何程ノ半額					
馬車何疋立 計何輛					
何 車 計何輛					
水 車 稅					
何日年額何程 計何個					
內何個 全期 何取口年額何程 半期					
計何口					

金	金	金	金	金	金	金
乘馬稅	屠畜稅	漁業稅	河湖沼ノ部	海ノ部		
年額何程 計何頭	一頭ニ付五拾錢 計何頭		何網年額何程 計何統 何々年額何程 計何個	何網年額何程 計何統		

金	金	金	金	金	金	金
內	採掘稅	海苔取上高何程ノ百分ノ三	何々取上高何程ノ百分ノ三	戶數割	豫算金	一
				但賦課總戶數貳拾九萬五千九百八拾戶 壹戶ニ付金三拾九錢貳厘		
				內 貳拾九萬千九百八拾貳戶三分五厘 壹戶ニ付金三拾九錢貳厘 令期 此現戶數廿九萬貳千七百五拾貳戶 三千三百六拾八戶貳分九厘 壹戶ニ付金拾九錢六厘 半期		

第八類 地方稅

金 内

此現戸數三千三百廿八戸
入寄留分戸等ニ依リ収入増
計何十戸

内何戸 全期
内何戸 半期

金 内 外

收入 不足

金

罹災者免除ノ分

計三千五十九戸三分五厘

此現戸數三千百七拾五戸 半期

不納者處分ノ未損失

計百五十二戸

内

五十三戸二分 全期

此現戸數六十八戸

七十三戸八分貳厘 半期

○以下此例ニ倣フ

總計金

備考

○科目掲載ノ順序ハ變更スルヲ得サルモノトス

○豫算金ハ其年度ノ達ノ金額ヲ掲グルモノトス

但追加割等アルキハ追加ヲモ合算スヘシ

○個數ヲ以テ課税スルモノニシテ免除除却等アルキハ直チニ定率ヲ以テ其人割ニ乗スルモ

符合セサルモノニ付新規開業等内書ニ係ルモノヲ扣除シ免除々却等外書ニ係ルモノヲ加

ヒ是レニ定率ヲ乗スレハ納額表ノ金額ニ適合ス

○戸數割ハ毎戸等差ヲ立テ賦課スルモノナルカ故ニ免除々却等アルキハ定率ヲ以テ算スル

能ハス因テ實收セシ金額ヲ目安ニテ除シ得ル所ノモノヲ平均戸數トシ其傍ニ現在徴收セ

シ戸數ヲ掲グルモノトス又外書ニ係ル免除等ハ實際除却セシ金額ヲ目安ニテ除シ得ル處

ノ戸數ヲ掲ケ其傍ニ實際免除セシ戸數ヲ掲グルモノトス

郡區役所

●明治十九年(三月)丙寅廿三號

地方税不納者公費處分濟報告表ノ義別紙雛形ノ通相定メ候條有ニ照準十八年度已降第一號表

ハ一周年度ニ取纏メ精算帳ニ添付シ第二號表ハ其時々報告スヘシ

但地方税損失ニ係ルモノハ別ニ稟申スヘシ

右相違候事
第一號

明治何年度地方税不納者公賣處分濟報告表

稅	地稅	戶稅	營業稅	雜種稅	合計
租	名	數	工	何	
割	不	割	料	何	
何	納	何	理	々	
何	金	何	屋		
何	額	何			
何	程	何			
何	公	何			
何	賣	何			
何	代	何			
何	金	何			
何	官	何			
何	沒	何			
何	物	何			
何	件	何			
何	買	何			
何	數	何			
何	損	何			
何	失	何			
何	稅	何			
何	金	何			
何	不	何			
何	納	何			
何	者	何			
何	人	何			
何	名	何			

右之通相違無之候也

年 月 日

第二號 甲

縣 令 宛

郡 區 長

明治何年度(前)後(後)半期地方税不納者公賣處分濟報告表

稅	不	納	處	分	着	全	了	公	賣	物	件	公	賣	官	損	公	賣	過	剩	事	故	不	納	者	住	所	姓	名					
金	額	手	月	日	月	日	日	目	反	別	券	面	地	價	筆	數	代	價	官	損	入	費	下	戻	事	故	不	納	者	住	所	姓	名

稅目

不納處分着全了公賣物件公賣官損公賣過剩事故不納者住所姓名

合計	右之通不納者公賣處分決行候ニ付此段申報候也	年 月 日	縣 令 宛	郡 區 長 印
----	-----------------------	-------	-------	---------

備考

○稅目欄内ニハ小科目記載スヘシ

第二號 乙

明治何年度(前)後(後)半期地租割稅不納者公賣處分濟報告表

合計	右之通不納者公賣處分決行候ニ付此段申報候也	年 月 日	縣 令 宛	郡 區 長 印
----	-----------------------	-------	-------	---------

不納金額處分着全了公賣物件公賣官損公賣過剩事故不納者住所姓名

第八類 地方稅

○市町村稅

●明治廿二年(三月)訓令甲第十八號
 市納町村稅ハ市制町村制第九十條ニ依リ國稅府縣稅ニ附加シ又ハ特別稅ヲ課スル等其市町村ノ便宜ニ任スト雖モ從來ノ課目中地價割戶別割家屋割及營業割等ハ附加稅ノ性質ニ屬シ反別割ハ特別稅ニ屬スルヲ以テ成ル可ク此課目ヲ存シ當分ノ内ハ別ニ新稅ヲ起サ、ルヲ要ス

●明治廿二年(三月)訓令甲第十九號
 市町村費豫算表記載方之義可成左之例ニ據ルヲ要ス

郡區役所 戶長役場

科	目	前年度豫算額 (朱罫)...	本年度豫算額 (朱罫)...	附記
第一款	財產ヨリ生スル收入			
一	貸地料			某所字何々宅地(原野)反別何程或ハ坪數何程貸地料一ヶ月金何圓宛
二	藏敷料			某所土藏幾棟一棟一ヶ月金何圓宛
三	貸付金藏利子			共有金貸付元金何千圓ハ年幾割何百圓ハ月何割貸付米何石此利米何斗代金何程

印ハ朱

第八類 市町村稅

四	公債利子			何種公債証書額何萬圓此一ヶ年分利子金何圓何種公債証書額面何千圓此一ヶ年分利子金何圓
五	小作米			某所字何々田(畑)小作米何石代金何程
六	森林副產物拂代			某所字何々森林箱覽拂代金何圓
七	水道收入			吹井戸何拾個壹個ニ付金何圓並井戸何百個壹個ニ付金何圓
第二款	使用料及手數料			一ヶ年間幾日一日ニ付金何拾錢
一	議事堂使用料			某所字何々堤塘幾坪一坪ニ付金何錢
二	堤塘使用料			何錢
三	道路並木敷使用料			何街並木敷幾坪一坪ニ付金何錢
四	何使用料			市町村制第八十四條及第八十九條ニ係ル使用料等各別ニ列記ス
五	何手數料			同上
第三款	雜收入			何川何橋々錢何圓何川何所渡船賃何圓
一	橋錢及渡船賃			

二 竹木拂代			何堤竹木拂代金何圓並木枯損木拂代金何圓
三 不用品拂代			不用書籍拂代金何圓及古拂代金何圓糞尿拂代金何圓
四 小學簡易科授業料			生徒何人平均一人何錢
五 豫知スヘカラザル收入			過意金科料金賠償金其他豫知スヘカラザル收入ヲ編入スヘシ
第四款 前年度繰越金			
第五款 地方税補助金			
一 教育費補助			○小學簡易科教員何人一人一ヶ月何圓宛
二 土木費補助			○何堤防修築補助費何圓何道路改修補助費何圓
第六款 寄付金			
一 土木費寄付			○何橋架設費指定金何圓何用水路修繕費指定金何圓
二 救助費寄付			○何教育場費指定金何圓窮民救助費指定金何圓
第五款 市町村税			

市町村歳出豫算表記載例備考			
科	目	前年度豫算額	本年度豫算額
第一項 給料	第一款 役所(役場)費	(朱野)...	(朱野)...
一 市町村長給料			
二 助役給料			
三 書記給料			
四 付屬員給料			
五 收入役給料			
	附		
	記		
			地價金何圓ニ付何錢本年度租像算高金何程地租一圓ニ付金何程即チ地租ノ何分
			本年度地方税營業稅ノ何分
			本年度地方税戸數割(家屋稅)ノ何分
			年俸何百圓若クハ月俸何圓ツ、十二ヶ月分
			月俸何圓何人何圓何人
			前ニ全シ
			前ニ全シ
			年俸何百圓若クハ月俸何圓ツ、十二ヶ月分

六區長給料	六區長給料	年俸若干、月俸何圓何人何圓何人
七使丁給料	七使丁給料	月給若干、日給何程ノモノ何人何程ノモノ何人
第二項雜給	第二項雜給	市町村長旅費日當何圓助役全何圓書記全何圓附屬員全何圓市町村吏員全何圓收入役全何圓區長全何圓
一旅費	一旅費	名譽職參事會員報酬何圓常設委員全何圓區長全何圓
二報酬	二報酬	名譽職參事會員實費辦償額何圓以下前ニ全シ
三實費辦償額	三實費辦償額	市町村長退隱料何圓助役全何圓吏員全何圓收入役全何圓何々全何圓
四退隱料	四退隱料	職工賃何圓雇人足賃何圓
五雇人料	五雇人料	何器具新調費何圓何器械修繕費何圓書籍買入代何圓
第三項需用費	第三項需用費	筆紙墨代何圓薪炭油茶代何圓何々代何圓
一備品費	一備品費	
二消耗品費	二消耗品費	

六四〇

三賄費	三賄費	宿直辦當料何圓夜勤全何圓
四通信運搬費	四通信運搬費	郵便電信料何圓運送費何圓
五雜費	五雜費	借家料何圓借地料何圓何々何圓
第四項常時修繕費	第四項常時修繕費	屋根修繕費何圓塀牆修繕費何圓
一役所役場修繕費	一役所役場修繕費	何々費何圓
二物置修繕費	二物置修繕費	
第二款會議費	第二款會議費	
一議員實費辦償額	一議員實費辦償額	議員何人一人ニ付何圓
二書記給料	二書記給料	書記何人内一人ハ日給何圓何人ハ全何拾錢
三印刷費	三印刷費	議案印刷費何圓決議書全何圓何々全何圓
四備品費	四備品費	桌子何脚新調若クハ修繕費一脚ニ付金何圓椅子何脚全一脚ニ付金何拾錢
五消耗品費	五消耗品費	筆紙墨代何圓薪炭油茶代何圓

第八類 市町村稅

六四一

六 郵 便 費					
七 雜 費					何々
○以下倣之					
現行新潟縣法規類纂上卷終					



